

テーマ：住まい・移住

事業名	今後の方向性等	具体的内容
<p>(企画課) 子育て世帯定住促進奨励金</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・5年間の実績や、現在行っている移住・定住施策の中で得られたニーズなどをもとに実態を把握し、条件の緩和や空き家バンクとの連携を意識した、より効果的な制度とする。 ・移住・定住施策全般について、移住者のみを意識するのではなく、転出を防止するため、定住支援の観点も重要視していく必要がある。また、移住者などの民間活力の積極的な導入を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・移住者からニーズのある空き家バンクを活用した「空き家改修補助」や「空き家清掃補助」について、貸主・借主双方にメリットがあり、空き家バンクの活性化を進める。 ・各補助制度利用者からのアンケートなどを徹底し、継続的なニーズの把握や補助制度の効果検証を実施する。
<p>(産業課) 空き家バンク</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的な空き家対策については、他部署相互に情報交換や共有を密に行い、施策の連携を図る。 ・登録する側も利用する側も活用しやすいものとなるよう、制度改革を行う。 ・市内不動産事業所と連携を図り、空き家の効果的な売り出しを図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提案会で出た支援策や他市町村の補助制度を参考にし、空き家の改修補助等を盛り込んだ制度改革を行う。 ・現在登録されている空き家を、空き家バンク制度に協力する市内不動産事業所に情報共有を図るなど連携を図り、民間活力を活用して空き家の利用を促進していく。
<p>(建設課) 井倉団地新婚子育て世帯入居支援事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・井倉団地の入居状況は、空き部屋状況と入居申込み状況の需給のバランスが取れている。また、新婚子育て世帯の入居世帯数も制度開始時の22世帯と比較し、44世帯と増加している状況であり、若年層の定住対策としての目的を達成しているため、当面は現状推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・井倉団地の入居状況や申込み世帯の分類等を把握する中で制度改革を検討するが、当面は現状推進する。井倉団地の退去者については、退去時の資料を基に、市内定住率等の追跡調査を行う。